被 害 状 況 別 紙

番号	犯人の名前	犯人が使ったと思われる電話番号	被害にあった年月日		振込送金の金額	振込送金先（口座名義、銀行名、口座番号）	犯人が言ったうその内容	疎明資料		当時の氏名及びフリガナ（現在の氏名及びフリガナ）	原因事実
			犯人から電話等を受けた年月日	犯人からの求めに応じて振込送金した年月日、場所				疎明資料の種類	警察への提出の有無		
記載要領	**1回の振込送金ごとに1つの行を使ってください。1つ上の欄と内容が同じ場合は「〃」の記載で結構です。**										
	犯人の名前を記載してください。 分からない場合は「不明」と記載してください。 犯人の氏名が複数分かる場合は、全て記載してください。	犯人があなたにかけるときに使った電話番号又は犯人からかけるように指示された電話番号が分かる場合は全部記載してください。 分からない場合は「不明」と記載してください。	振込送金する前に犯人から受けた（又はあなたが犯人にかけた）電話の年月日を全部記載してください。 正確には覚えていないという場合は、覚えている範囲で記載してください。 全く分からない場合は「不明」と記載してください。	振込送金した年月日、場所について記載して下さい。	振込送金した金額を記載してください。 分からない場合は「不明」と記載してください。	振込送金先の口座名義、銀行名、口座番号を分かる範囲で記載してください。 全く分からない場合は「不明」と記載してください。	犯人が電話で話したうその内容を記載してください。 振込送金した回数が2回以上ある場合は、振込送金ごとに、うその内容をそれぞれ記載してください。	犯人からのうその電話を信じて振込送金したことを明らかにする資料の種類（通帳の写し、取引明細書など）を記載してください。	左の欄に記載した疎明資料のうち、既に警察に提出したものがあれば、その疎明資料の種類を記載してください。 左の欄に記載した疎明資料全部を既に警察に提出してある場合は、「全部」と記載してください。 警察に何も提出していない場合は、「無」と記載してください。	あなたの氏名が被害当時と異なる場合は、当時の氏名及びフリガナを記載してください。	氏名が異なる場合は、その原因となった事実（結婚等）を簡潔に記載してください。
1											
2											
3											
4											